

編集後記

『上智経済論集』第58巻1・2号合併号を「上智大学経済学部100周年記念号」としてお届けする。

本誌編集委員会（委員長・鬼頭宏、委員・網倉久永、青木研、荒木勉、出島敬久、石井昌宏、竹之内秀行、上山隆大）は2012年1月27日に立ち上げられ、創立100周年を記念した特別号の刊行を決定した。名誉教授と現役の教員スタッフに投稿を求めた結果、23本の論文を収録することができた。短い準備期間にもかかわらず、原稿をお寄せくださった執筆者諸氏に感謝申し上げます。学部事務室の山下敦子さん、小葉印刷所の編集者丸山智香子さんには、ひとかたならぬお世話になった。おかげで期日内の刊行に漕ぎつけることができた。この場を借りて御礼申し上げる。

『上智経済論集』の淵源は『上智大学論叢 第一輯』（昭和16年5月15日、岩波書店）にある。戦争をはさんで1955年に新しい一步を踏みだしたとき、先行する『上智大学論叢』を受け継ぐものとして第2巻として刊行された。本誌の体裁は、筆書きのタイトルも、B5版横組の版型も、第2巻以来変わっていない。ただし第40巻1号までは原則として2段組であったが、第40巻2号（1995年3月）から1段組に変更になった。刊行頻度は年2回が建前であるが、1・2号合併号として刊行されることも稀ではなくなっている。第49巻1・2号（2004年3月）からは、インターネットを通じて、上智大学学術情報リポジトリ（Sophia-R）から全文の閲覧が可能になっている。

教員の研究公開に臨機に対応し、新鮮な研究成果を発信するために、1993年2月から「ディスカッション・ペーパー・シリーズ」を刊行している。現在までに57冊を刊行している。

ファカルティー・メンバーの世代交代も大きく進んだ。時代とともに研究方法も報告のスタイルも多様化してきた。今後もより柔軟で、新鮮なアイデアによって、本学部の研究活動がさらに活発になっていくことを願っている。

（文責 編集委員長 鬼頭 宏）